M

ハンズフリーを使う

初期登録設定

ハンズフリー／CARWINGS／Yahoo! サービス／オンライン検索を使用するには、はじめに初期登録(携帯電話の登録)をする必要があります。また、音量調整／登録削除／データ通信端末設定・ハンズフリー設定／アドレス帳の転送／自動応答保留などの各設定をすることができます。

下記手順を行なう前にあらかじめ携帯電話側のBluetoothが使用できるよう設定してください。
※設定方法はお手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話を登録する

使用する携帯電話を本機に登録します。

1 (電話)を押しハンズフリーMENU画面を表示させ、 設定 をタッチする。

HS511D-A
ハンズフリーMENU画面

1-1 ボタン(電話)

HS511D-W
ハンズフリーMENU画面

1-1 ボタン(電話)

2 機器登録 ➡ ハンズフリー をタッチする。

：携帯電話会社設定画面が表示されます。

※ 機器登録 ／ ハンズフリー は端末が追加登録可能な場合に選択できます。

※登録されている機器(携帯電話４台＋Bluetooth Audio機器２台)がある場合 機器登録 は選択できません。

Bluetooth設定画面

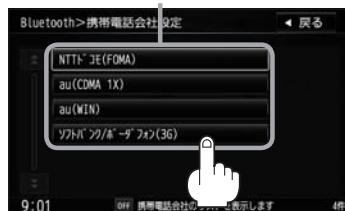
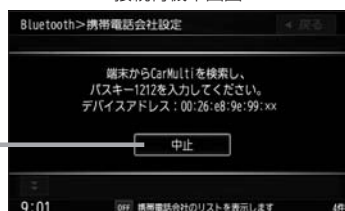
3 登録する携帯の会社名(種類)をタッチする。

※すでに接続済みのBluetooth機器がある場合は、メッセージが表示されるので はい を選択して、機器を切断する必要があります。

：接続待機中画面が表示されます。

携帯電話会社リスト

接続待機中画面

※接続待機中に 中止 をタッチすると接続を中止し、携帯電話会社設定画面に戻ります。

4 携帯電話を操作する。

※携帯電話側を操作してハンズフリーとして登録を行なってください。操作方法はお手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

※登録する携帯電話の仕様によってはパスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング機能)の場合があります。携帯電話および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、はい をタッチすると登録が完了します。

※ハンズフリー登録操作完了後にBluetooth Audioの追加登録が行なえる場合、登録した端末をBluetooth Audioとしても登録するか確認するメッセージが表示されるので、登録する場合は はい を、しない場合は いいえ を選択してください。

登録完了メッセージ(例)

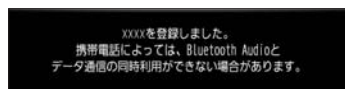
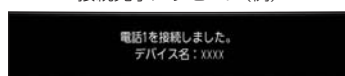
xxxxを登録しました。
携帯電話によっては、Bluetooth Audioと
データ通信の同時利用ができない場合があります。

または

接続完了メッセージ(例)

電話1を接続しました。
デバイス名：xxxx

登録が完了し、携帯電話(ハンズフリー)が接続されると情報バーにアイコンが表示されます。

M-4アドバイス参照

アドバイス

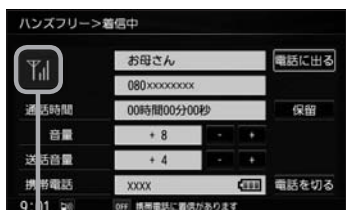
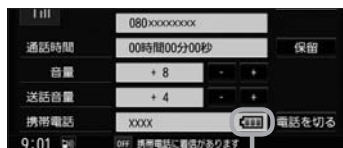
- ハンズフリーの初期登録を行なう際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBluetooth機器の電源はお切りください。
- パスキーとは、“Bluetooth対応携帯電話”を本機に登録するためのパスワードです。
  ※パスキーは任意の数字に変更することができます。M-15
- 携帯電話で複数の機器を検索した場合は、本機の機器名称等で判断してください。
  「車載機(本機)のBluetooth情報を見る」M-14
- ハンズフリー機器の登録は、システム設定画面からも設定することができます。
  システム設定画面(A-10)➡ Bluetooth タッチ➡ M-2手順 2 にしたがって操作する。
- 携帯電話の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ登録することができます。

アドバイス

● **携帯電話が接続されているときには、携帯電話のアイコンが情報バーに表示されます。**

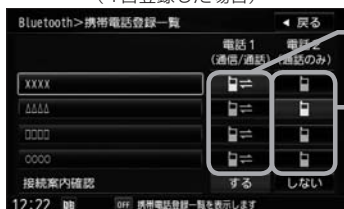
情報バー

携帯電話のアイコン
アンテナ３本：電波状態良好

携帯電話のアイコン	意　　味
／	割り当てられている携帯電話(電話１／電話２)と電波状態
	電波は届いていません。
	携帯電話が２台接続されている状態
	携帯電話が２台接続されており、電話２に設定されている携帯電話に電波が届いていない状態

着信／発信／通話中のとき電波状態を表示

電池残量

※電波状態(アンテナの本数)は携帯電話の電波状態を表しますが、携帯電話によっては携帯電話で表示するアンテナ本数と異なる場合があります。(良好でも圏外となることがあります。)
また、着信中や通話中などに表示される接続機器の電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。

● 携帯電話は４台まで登録可能です。
● 登録済み携帯電話のうち、同時に２台のハンズフリー接続が可能です。
● はじめに登録した端末が電話１に設定(割り当て)されます。(２台目以降の登録では、電話２に設定されます。)
● 電話１に設定(割り当て)された携帯電話のみ、データ通信機能を使用できます。

携帯電話登録一覧(例)
(４台登録した場合)

電話１(通信／通話)を選択すると、データ通信とハンズフリー通話が可能です。

電話２(通話のみ)を選択すると、ハンズフリー通話が可能です。

● 携帯電話は２台接続することができますが、同時に２台の発信／着信はできません。
※発信／着信は１台のみとなります。
● 携帯電話の詳しい操作方法はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する

本機に登録している携帯電話の詳細情報を確認したり、登録している携帯電話を削除することができます。

1 (電話)を押しハンズフリーMENU画面を表示させ、 設定 をタッチする。

HS511D-A
ハンズフリーMENU画面

1 -1 ボタン(電話)

HS511D-W
ハンズフリーMENU画面

1 -1 ボタン(電話)

2 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

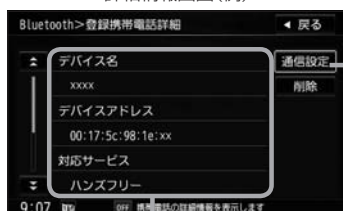
※表示は最大４件です。登録されている携帯電話がない場合 登録機器一覧 は選択できません。

Bluetooth 設定画面

3 詳細情報を見たい、または削除したい携帯電話(デバイス名)をタッチする。

：詳細情報画面が表示されます。

携帯電話登録一覧画面

詳細情報画面(例)

データ通信の設定を行なうことができます。
☞ M-32

登録している携帯電話の詳細情報を確認することができます。
(デバイス名*[1]／デバイスアドレス／対応サービス*[2]／携帯電話会社*[3]／自局番号を表示)

＊1印･･･携帯電話に設定されている名称を表示します。
＊2印･･･登録した端末が、どのサービスに対応しているかを表示します。
＊3印･･･CDDB／Yahoo!サービス用としてマニュアル設定がされている場合、会社名の後に「＋マニュアル設定」と表示されます。

※お手持ちの携帯電話の自局情報(プロフィール)に絵文字を使用している場合、本機では＿(アンダーバー)表示されます。

※本機に表示される名称(デバイス名)は登録時のものとなります。携帯電話側で名称(自局情報)を変更しても本機では一度登録した名称が表示されます。

■ 削除する場合

① **削除** をタッチする。

：削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると選択した携帯電話を削除し、ハンズフリーMENU画面に戻ります。

詳細情報画面

アドバイス

- 携帯電話(デバイス名)を削除すると、本体に登録(転送)したメモリ(アドレス帳)も削除されます。
- 電話１に設定された端末を削除した場合、電話１を再設定することはありません。
- 電話２に設定された端末を削除した場合、電話１として割り当てられていない限り、最新(リストの一番下)の端末を電話２端末として自動的に切り替えます。

アドバイス

- 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- Quick MENUからも携帯電話登録一覧画面を表示させることができます。
  別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)B-21
- (電話)を押すと現在選択中のモード画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

携帯電話の割り当てを切り替える

接続可能な携帯電話の割り当てを切り替えます。

※携帯電話は４台まで登録可能ですが、常時接続できる携帯電話機は電話１、電話２に各１台ずつ合計２台となります。電話１は通信*と通話の割り当てとなり、電話２は通話のみの割り当てとなります。

＊印･･･データ通信(CDタイトルオンライン検索／カーウイングス／Yahoo!サービスなどの)機能を使います。

1 (電話)を押しハンズフリーMENU画面を表示させ、 設定 をタッチする。

HS511D-A
ハンズフリーMENU画面

1-1 ボタン(電話)

HS511D-W
ハンズフリーMENU画面

1-1 ボタン(電話)

2 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※表示は最大４件です。登録されている携帯電話がない場合 登録機器一覧 は選択できません。

Bluetooth設定画面

割り当てたい携帯電話の電話１または電話２の［電話1ボタン］／［電話2ボタン］をタッチする。

：タッチするたびにBluetooth接続する携帯電話の割り当て／解除が切り替わります。

携帯電話登録一覧画面

アドバイス

- 電話１、電話２端末を変更するときに、変更前の端末が接続されている場合は、Bluetooth切断を行なったあとに割り当てを変更します。
- 携帯電話によっては、Bluetooth Audioとデータ通信の同時利用ができない場合があります。
- 携帯電話を電話１／電話２設定した場合、その携帯電話の仕様によってはBluetooth操作を行なえない場合があります。その場合は、電話１／電話２いずれかの設定を解除してください。
  ※割り当てを解除すると、解除された携帯電話の接続は切断されます。

アドバイス

- 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻ります。
- Quick MENUからも携帯電話登録一覧画面を表示させることができます。
  別冊の日産オリジナルナビゲーション(詳細版)B-21
- （電話）を押すと現在選択中のモード画面に戻ります。
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

携帯電話接続確認案内の設定をする

車のキースイッチが「OFF」から「ON」になったときに登録されている携帯電話と接続できない場合、メッセージ表示と音声案内でお知らせします。

※初期設定は“する”に設定されています。

（電話）を押しハンズフリーMENU画面を表示させ、設定をタッチする。

HS511D-A
ハンズフリーMENU画面

1-1 ボタン（電話）

HS511D-W
ハンズフリーMENU画面

1-1 ボタン（電話）

---

2 **登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。**

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※表示は最大４件です。登録されている携帯電話がない場合 登録機器一覧 は選択できません。

Bluetooth設定画面

3 接続確認案内の する をタッチする。

：携帯電話が接続できなかった場合、メッセージと音声で接続確認の案内が行なわれます。

※接続確認の案内を行なわない場合は しない を選択してください。

携帯電話登録一覧画面

アドバイス

- “する” に設定した場合、１台のみ割り当ての場合は起動から30秒後、２台の割り当てがある場合は起動から約60秒後に割り当てされている端末と接続できない場合に、メッセージと音声でお知らせします。

- 音声案内で消音を設定している場合でも、“する” に設定した場合、音声でお知らせします。

アドバイス

- 割り当てが１台もない場合、接続確認の案内は行なわれません。
- ナビゲーションの起動から約60秒以内にハンズフリーの画面を表示した場合接続確認案内は行なわれません。
  ※ハンズフリー以外のBluetooth機能が動作中の場合、案内表示までの期間にハンズフリー接続が行なわれず、接続確認の案内が表示される場合があります。

ハンズフリーの通話設定をする

着信音量／受話音量／送話音量の設定をすることができます。

- 着信音量･･･着信音の大きさ
- 受話音量･･･通話先相手の声の大きさ
- 送話音量･･･相手に聞こえる自分の声の大きさ

1 (電話)を押しハンズフリーMENU画面を表示させ、設定をタッチする。

HS511D-A
ハンズフリーMENU画面

1-1 ボタン(電話)

HS511D-W
ハンズフリーMENU画面

1-1 ボタン(電話)

2 通話設定をタッチする。

：ハンズフリー通話設定画面が表示されます。

Bluetooth設定画面

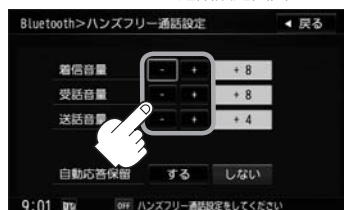
3 調整したい音量(着信／受話／送話)の －／＋をタッチする。

■ －をタッチした場合

：着信／受話／送話音量が小さくなります。

■ ＋をタッチした場合

：着信／受話／送話音量が大きくなります。

ハンズフリー通話設定画面

アドバイス

- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。また、音声はマイクに向かって大きくはっきりとお話しください。
- 戻るをタッチすると１つ前の画面に戻ります。
- (電話)を押すと現在選択中のモード画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 着信／通話中に調整することもできます。着信／送話音量はM-18、受話音量はM-24参照

自動的に保留する(自動応答保留)

設定しておくとすぐに応答できない場合に自動的に保留し、音声で応答できないことを相手に案内します。

(電話)を押しハンズフリーMENU画面を表示させ、 設定 をタッチする。

HS511D-A
ハンズフリーMENU画面

1 -1 ボタン(電話)

HS511D-W
ハンズフリーMENU画面

1 -1 ボタン(電話)

2 **通話設定 をタッチする。**

：ハンズフリー通話設定画面が表示されます。

Bluetooth設定画面

3 **自動応答保留の する タッチする。**

：着信時自動的に保留されます。

※自動的に保留にしない場合は しない を選択してください。

ハンズフリー通話設定画面

アドバイス

- 保留し、音声で案内しているときも、相手には通話料金がかかります。
- 保留中に 通話 をタッチすると電話はつながり、 電話を切る をタッチすると電話は切れます。
- 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 自動応答保留を行なうためには、携帯電話側で応答保留(着信保留)に対応している必要があります。
  ※保留に対応していない携帯は自動応答保留はOFFを選択してください。(自動応答保留をONにした場合は自動的に着信拒否されます。)
- 携帯電話が複数登録されている場合、自動応答保留設定は、電話1/電話2の携帯電話に共有されます。(個別に設定できません。)

車載機(本機)のBluetooth情報を見る

端末を登録するときや、携帯電話に登録した車載機(本機)の情報を削除してしまったときなど、車載機(本機)のBluetooth情報を見たいときに使用します。

1 (電話)を押しハンズフリーMENU画面を表示させ、設定をタッチする。

HS511D-A
ハンズフリーMENU画面

1-1 ボタン(電話)

HS511D-W
ハンズフリーMENU画面

1-1 ボタン(電話)

2 本体情報 をタッチする。

：Bluetooth本体情報画面が表示されます。

Bluetooth設定画面

Bluetooth本体情報画面

デバイス名
デバイスアドレス
ハンズフリーパスキー
BluetoothAudioパスキーなどの情報を表示します。

デバイス名／パスキーの変更をすることができます。

「デバイス名／パスキーを変更する」M-15

アドバイス

- 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- (電話)を押すと現在選択中のモード画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

デバイス名／パスキーを変更する

1 （電話）を押しハンズフリーMENU画面を表示させ、設定 をタッチする。

HS511D-A
ハンズフリーMENU画面

HS511D-W
ハンズフリーMENU画面

1 -1 ボタン（電話）　　1 -1 ボタン（電話）

2 本体情報 をタッチする。

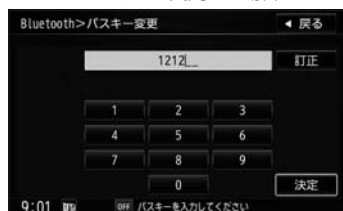
：Bluetooth本体情報画面が表示されます。

Bluetooth設定画面

3 デバイス名またはパスキーの変更をする。

変更の仕方は、I-8手順 4 にしたがって操作してください。（パスキーを変更するときは、手順②で ハンズフリー を選択してください。）

Bluetooth本体情報画面

パスキーを変更する場合

デバイス名を変更する場合

アドバイス

- 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 手順 3 で 決定 をタッチしないで 現在地 ／ メニュー を押したり、 戻る をタッチした場合は設定が保存されません。
- 入力した数字を訂正するときは 訂正 をタッチして数字を再入力してください。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

携帯電話のメモリを本機に登録する

携帯電話のメモリ(アドレス帳)を本機に登録します。

1 (電話)を押す。

：ハンズフリーMENU画面が表示されます。

2 電話１ ／ 電話２ ➡ 携帯メモリ読み出し をタッチする。

：メモリを読み出していいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチすると携帯電話接続待ち中画面が表示されます。

※Bluetooth Audio機器を接続している場合は読み出し終了まで接続できません。

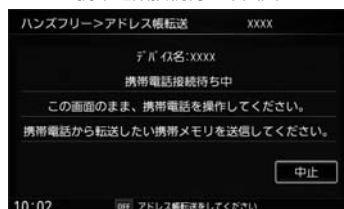
ハンズフリーMENU画面

3 携帯電話を操作する。

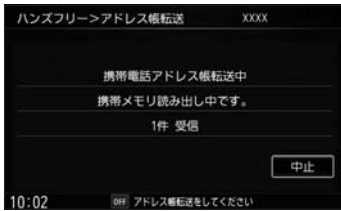
※読み出したいアドレス帳を選択し、データ送信を開始させます。

：本機に携帯電話のアドレス帳の転送が開始されます。

※選択したアドレスの数によって表示される画面が異なります。（1件転送／全件転送）

携帯電話接続待ち中画面

アドバイス

- データ転送は本機が携帯電話接続待ち中画面を表示している間に行なってください。
- アドレス帳のデータ送信やBluetoothの接断／接続などの操作方法は、お使いの携帯電話によって異なります。お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- メモリの読み出しは、本機にハンズフリーとして登録、接続されている携帯電話のみ可能となります。

■ 1件転送の場合

■ 全件転送の場合

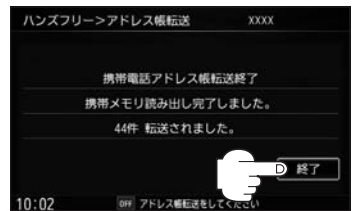
追加保存するか上書き保存するか選択してください。

アドバイス

本機のアドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のメモリを更新した際は、再度メモリ(アドレス)を登録しなおしてください。

4 読み出し(アドレス帳転送)が完了したら、 終了 をタッチする。

：ハンズフリーMENU画面に戻ります。

アドレス帳転送終了画面

アドバイス

- 中止 をタッチするとメモリの読み出しは中止されます。
- 本機のメモリがいっぱいになったり(1台あたり最大700件)、不正なデータがある場合は転送は終了されます。
  ※すでに本機に転送されたメモリ(アドレス)は本機に保存されます。
- メモリ読み出し中に車のキースイッチを変更した場合、メモリ読み出しは中止されます。その場合は、再度メモリ読み出しをやりなおしてください。(故障のおそれがありますので、メモリ読み出し中はキースイッチを変更しないようご注意ください。)
- メモリ読み出し中に着信があった場合、Bluetooth接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。(携帯電話の機種により読み出しができる場合があります。)
- 読み出しできる文字数・桁数は、名前：全角9文字まで／よみ：半角18文字まで／電話番号：36桁までです。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 手順 3 (M-16)で全件転送(一括送信)をすると携帯電話の機種によってオーナー番号(お客さま自身の番号)も登録される場合があります。
- 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- (電話)を押すと現在選択中のモード画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

電話を受ける

⚠警告 電話は安全な場所に停車してご使用ください。

周りの安全を十分に確認して、通話は手短かに終了するようにしてください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。（通話時間は目安としてお考えください。）

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。
（99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。）

電話がかかってくると呼び出し音が鳴り、自動的に着信通知画面が表示されます。

着信音量を調整する

電話がかかってきたときの着信音量を調整することができます。

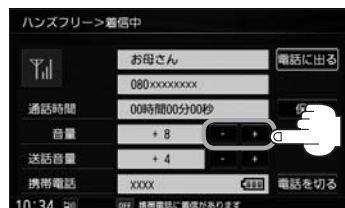
1 着信音が鳴っているときに、－／＋をタッチして音量を調整する。

■ －をタッチした場合

：着信音量が小さくなります。

■ ＋をタッチした場合

：着信音量が大きくなります。

着信通知画面

アドバイス

ハンズフリー通話設定画面からも電話の着信音を調整できます。

「ハンズフリーの通話設定をする」M-12

電話に出る

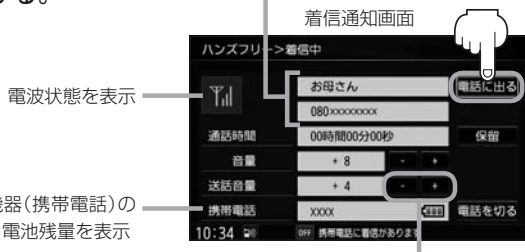
1 電話に出る をタッチする。

：通話可能となります。

着信中のアドレス情報を表示*
（アドレス帳に名前登録がある場合は
上段に名前／下段に番号が表示されます。）

着信通知画面

電波状態を表示

接続機器（携帯電話）の
名称と電池残量を表示

通話中に－／＋をタッチすると送話音量が増減します。
（相手に聞こえる自分の声の大きさの調整）

*印・・・名前登録がない場合は、上段に番号のみ表示されます。

アドバイス

- 携帯電話は、２台の接続が可能ですが同時に２台の発信／着信はできません。
  ※発信／着信は１台のみとなります。
- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されていた場合、着信音が出ない場合があります。
- ハンズフリー通話設定画面からも送話音量を調整できます。
  「ハンズフリーの通話設定をする」M-12
- 着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。

保留にする

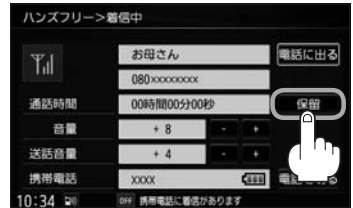
走行中などで、すぐに電話に出られないときは保留にすることができます。

1 電話がかかってきたら、保留 をタッチする。

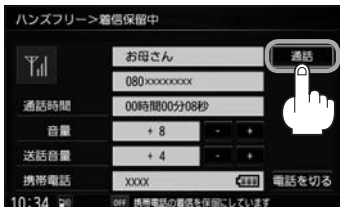
：着信保留画面になるとともに電話がつながり、かけた人に電話に出られないことを音声で案内します。

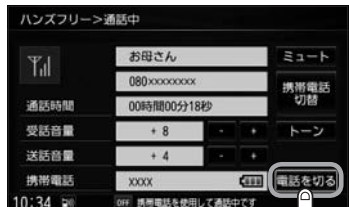
着信通知画面

アドバイス

- 音声で案内しているときも、相手には通話料金がかかります。
- 保留中に 電話を切る をタッチすると電話が切れます。
- 着信保留を行なうためには、携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。
  ※対応していない端末は保留をタッチすると切断されます。
- 保留操作を行なった場合、Bluetooth操作が行なえなくなる場合があります。

■ 通話できる状態になった場合

① 通話 をタッチする。

着信保留画面

：通話可能となります。

② 通話が終わったら 電話を切る をタッチする。

：電話が切れます。

アドバイス

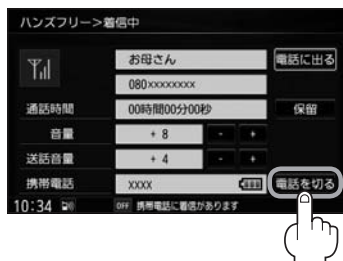
通話中にキースイッチを変更した場合、通話は終了（切断）される場合があります。

通話を拒否(終了)する

かかってきた電話に応答しないで切る(拒否する)
ことができます。

1 着信通知画面で 電話を切る をタッチする。

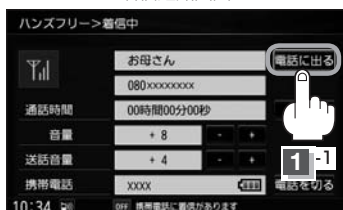
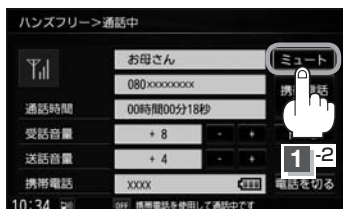
：かかってきた相手と電話を接続することなく
電話が切れます。

着信通知画面

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする(ミュート)

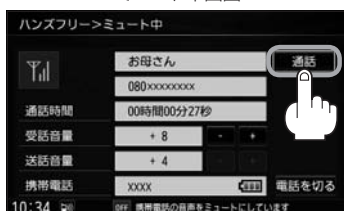
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにすることができます。
※相手の声は聞こえます。

1 着信通知画面で 電話に出る をタッチして
通話しているときに、 ミュート を
タッチする。

：ミュート中画面になり、通話相手に自分の声が
聞こえなくなります。
(※電話回線はつながったままの状態です。)

着信通知画面

通話中画面

■ 再びこちらの音声を出す場合

① 通話 をタッチする。

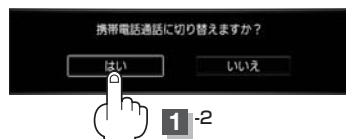
ミュート中画面

：自分の声が相手に聞こえます。

通話を携帯電話に切り替える

通話をマイクから携帯電話に切り替えます。

1 通話中画面で 携帯電話切替 をタッチする。

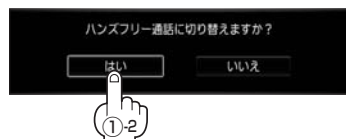
：切り替えるかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチすると、通話を携帯電話に切り替えます。

※通話をマイクから携帯電話に切り替えたとき、もう１台の端末が着信中の場合、画面は着信中の端末に切り替わります。

通話中画面

■ 通話を本機に戻す場合

① 通話中画面で ハンズフリー切替 をタッチする。

通話中画面

ハンズフリー通話に切り替えるかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチする。

：通話をハンズフリー通話（本機）に切り替えます。

トーン入力する

トーンを使って、留守番電話の遠隔操作やチケット予約などのサービスを利用することができます。

1 **通話中画面で トーン をタッチする。**

：トーン入力画面が表示されます。

通話中画面

---

2 **入力したい番号を 10キーボタンをタッチして入力する。**

：タッチするごとにトーン信号情報を携帯電話に送信します。

トーン入力画面

アドバイス

戻る をタッチすると 1 つ前の画面に戻ります。

電話をかける

⚠警告　電話は安全な場所に停車してご使用ください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。（通話時間は目安としてお考えください。）

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。（99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。）

いろいろな方法（電話番号／リダイヤル／履歴／施設の詳細☆／登録地点詳細☆）で電話をかけることができます。

☆印…☞別冊の日産オリジナルナビゲーション（詳細版）C-13、F-25、F-35

電話番号から

電話番号を入力して電話をかけます。

1 （電話）を押す。

：ハンズフリーMENU画面が表示されます。

2 電話１／電話２ ➡ ダイヤル をタッチする。

：電話番号入力画面が表示されます。

アドバイス

２台の携帯電話が接続されている場合、電話１／電話２のうち、選択されている方の携帯電話からの発信となります。

ハンズフリーMENU画面

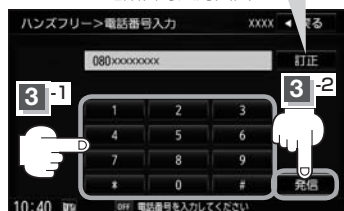
3 相手先の電話番号を入力し、発信 をタッチする。

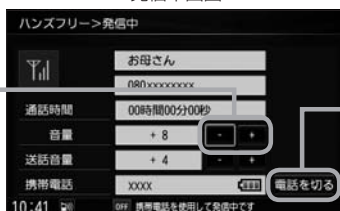
：入力先（相手先）に電話をかけます。

※36桁まで入力でき、24桁まで表示します。
入力した番号が25桁以上の場合、発信してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので はい または いいえ を選択してください。

※発信を行なえるのは１台のみです。（複数同時発信は不可）

- **入力した数字を１つ訂正する場合**
  訂正 をタッチする。
- **全ての数字を訂正する場合**
  訂正 を長めにタッチする。

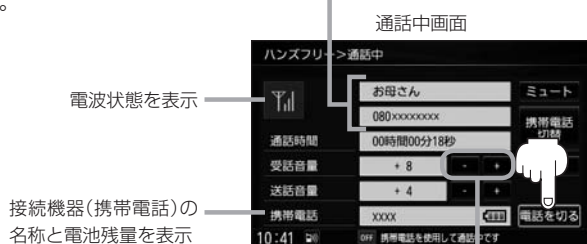
電話番号入力画面

アドバイス

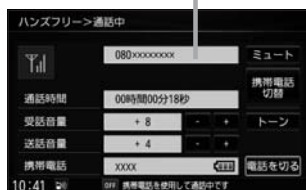
発信中画面で

－／＋ タッチで発信中の音（呼び出し音）の大きさを調整することができます。

電話を切る をタッチすると発信を中止することができます。

発信中画面

4 **通話が終わったら 電話を切る をタッチする。**

：電話が切れます。

アドバイス

＊印･･･アドレス帳に名前登録がない場合は、
　　　上段に番号のみ表示されます。

アドバイス

- 接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。
〔例：本機は発信中で相手はまだ応答していない(電話に出てない)が、本機の画面では通話中となります。〕
- 接続する携帯によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。
- 車を完全に停止した場合のみ ダイヤル を選択(M-23手順 2)することができます。

リダイヤルから

最後にかけた電話番号に電話をかけ直すときは数字を入力しなくても簡単にかけることができます。

1 （電話）を押す。

：ハンズフリーMENU画面が表示されます。

2 電話１ ／ 電話２ ➡ リダイヤル をタッチする。

：リダイヤル発信するかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択してください。

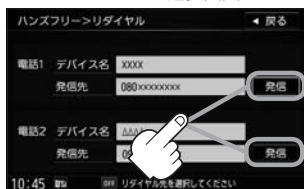
ハンズフリーMENU画面

アドバイス

- 発信履歴がない（どこにもかけてない）場合 リダイヤル は選択できません。
- ２台の携帯電話が接続されている場合、 電話１ ／ 電話２ のうち、選択されている方の番号でリダイヤルを行ないます。

アドバイス

- ✱（オプション）にリダイヤル機能を設定している場合は、このボタンを押すと、リダイヤル選択画面が表示されるのでかけたい方（電話１／電話２）の 発信 をタッチしてリダイヤル発信することができます。

✱（オプション）を押した場合
リダイヤル選択画面

履歴から

発信や着信の履歴を利用して電話をかけることができます。

1 （電話）を押す。

：ハンズフリーMENU画面が表示されます。

2 電話１ ／ 電話２ ➡ 発信履歴 ／ 着信履歴 をタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。

ハンズフリーMENU画面

アドバイス

- 発信／着信履歴がない場合 発信履歴 ／ 着信履歴 は選択できません。
- ２台の携帯電話が接続されている場合、 電話１ ／ 電話２ のうち、選択されている方の履歴から電話をかけます。

■ 発信履歴からかける場合

本機から電話をかけるとかけた相手の電話番号が発信履歴に自動的に登録されます。
登録された電話番号を利用して電話をかけることができます。
※アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前で表示されます。

① リストの中からかけたい相手の番号(名前)をタッチする。

発信履歴リスト画面

アドバイス

- 本機に発信履歴がない場合 発信履歴 は選択できません。
- リストに表示される履歴は最新の10件分です。
- 施設の詳細、登録地点詳細画面から電話をかけた場合も履歴番号がリストに表示されます。(施設名/地点名は表示されません。)

② 発信 をタッチする。

:電話するかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチすると選択した発信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

発信履歴詳細画面

※発信中画面(M-23のアドバイス参照)を表示し、相手につながると通話中画面(M-24の手順 4 参照)になります。

アドバイス

*印・・・アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前も表示されます。

■ 着信履歴からかける場合

本機に携帯電話を接続中に電話がかかってくると、かかってきた相手の電話番号が着信履歴に自動的に登録されます。登録された電話番号を利用して電話をかけることができます。ご使用中の携帯電話の機種によっては着信番号が表示されないで非通知と表示されます。
※アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前で表示されます。

① リストの中からかけたい相手の番号(名前)をタッチする。

：着信履歴詳細画面が表示されます。

着信履歴リスト画面

全削除 をタッチし、はい を選択すると着信履歴を一括で削除します。☞ M-30

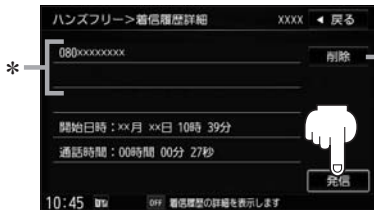
アドバイス

- 本機に着信履歴がない場合 着信履歴 は選択できません。
- 着信履歴リストに表示される履歴は最新の10件分です。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知と表示されます。また、非通知の場合選択する(電話をかける)ことはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。

② 発信 をタッチする。

：電話するかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチすると選択した着信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

着信履歴詳細画面

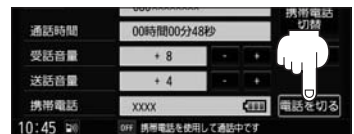
＊

削除 をタッチし、はい を選択すると選択中の着信履歴を削除することができます。
※全ての着信履歴を一括で削除することもできます。
☞「発着履歴を削除する」M-30

＊印･･･アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前も表示されます。

※発信中画面(☞ M-23のアドバイス参照)を表示し、相手につながると通話中画面(下記)になります。

3 通話が終わったら、電話を切る をタッチする。

：電話が切れます。

通話中画面

アドバイス

- 同じ相手への発信履歴や、同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。
- 非通知と表示されている履歴に電話をかけることはできません。
- 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻ります。

アドレス帳から

本機に登録したアドレス帳を使って電話をかけることができます。

アドバイス

アドレス帳から電話をかけるにはあらかじめ携帯電話のメモリ(アドレス帳)を本機に転送しておく必要があります。

1 (電話)を押す。

2 電話1 ／ 電話2 ➡ アドレス帳 をタッチする。

：名前検索画面が表示されます。

※アドレスのデータがない場合 アドレス帳 は選択できません。

アドバイス

2台の携帯電話が接続されている場合、電話1 ／ 電話2 のうち選択した方のアドレス帳からかけることができます。

ハンズフリーMENU画面

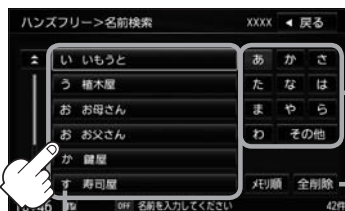
3 名前またはメモリ番号から電話をかける。

■ 名前からかける場合

本機に転送したアドレス帳を使って50音から検索して電話をかけることができます。

① リストの中からかけたい相手の名前を選択する。

：アドレス帳詳細画面が表示されます。

名前検索画面

名前の頭文字をタッチすると該当する名前が表示され、効率よく絞り込むことができます。(選択できない文字は暗くなります。)

全削除 をタッチすると登録されているすべての名前(アドレス)を一括で削除することができます。

名前の頭文字(またはそれ以外の文字)を表示

アドバイス

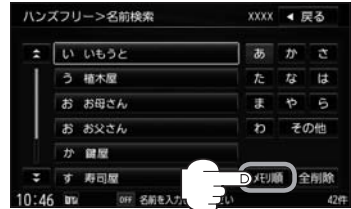
携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳が正しく50音割り当てされない場合があります。

■ メモリ番号からかける場合

本機に登録したアドレス帳を使って登録番号から検索して電話をかけることができます。

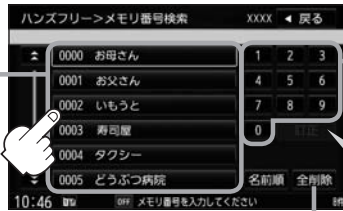
① メモリ順 をタッチする。

：メモリ番号検索画面が表示されます。

名前検索画面

② リストの中からかけたい相手のメモリ番号を選択する。

：アドレス帳詳細画面が表示されます。

メモリ番号
検索画面

メモリ番号は携帯から転送された順番にリストの上から表示されます。

数字をタッチしてメモリ番号を直接入力することもできます。

全削除 をタッチすると全ての名前(アドレス)を一括で削除することができます。

入力した数字を１つ訂正する場合
訂正 をタッチします。
全ての数字を訂正する場合
訂正 を長めにタッチします。

---

4 詳細画面でアドレス帳の内容を確認し、番号１で発信 または 番号２で発信 をタッチする。

：電話してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチすると(相手先の)番号に電話をかけます。

※発信中画面(☞ M-23アドバイス参照)を表示し、相手につながると通話中画面(☞ M-24手順 4 参照)になります。

アドレス帳詳細画面　＊

＊印… 削除 をタッチし、 はい を選択すると選択中の名前(アドレス)を削除することができます。

M-30 発着履歴を削除する

発信履歴、着信履歴を一括で削除することができます。

---

1 （電話）を押す。

：ハンズフリーMENU画面が表示されます。

---

2 電話１ ／ 電話２ ➡ 発信履歴 ／ 着信履歴 をタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。

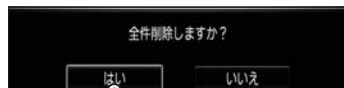
発信／着信履歴がない場合 発信履歴 ／ 着信履歴 は選択できません。

ハンズフリーMENU画面

---

3 全削除 をタッチする。

：全件削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択すると、発信または着信履歴を一括で削除し、ハンズフリーMENU画面に戻ります。

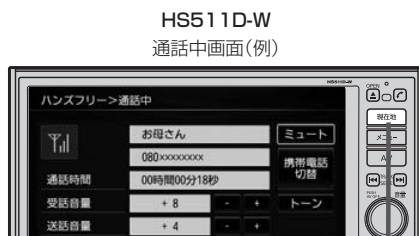
発信履歴リスト画面（例）

通話中に地図画面を表示する

“Bluetooth対応携帯電話” を使用して通話しているときでも地図画面を見たり、目的地設定などができます。

1 通話中に 現在地 を押す。

：ナビゲーション(地図)画面が表示されます。

HS511D-A
通話中画面(例)

HS511D-W
通話中画面(例)

1 現在地 ボタン　　1 現在地 ボタン

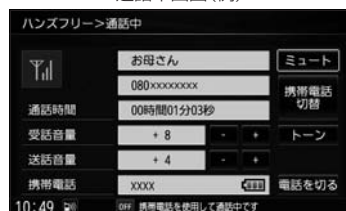
ナビゲーション画面

■ 再び通話中画面にする場合

① (電話)を押す。

HS511D-A

HS511D-W

① ボタン(電話)

通話中画面(例)

：通話中画面に戻ります。

アドバイス

- ハンズフリー音声出力中は、右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- 通話中はオーディオの音量調整(− 音量 + ／ 音量)は無効となります。

データ通信設定

初期登録設定 M–3手順 3 にて設定した会社のままでいい場合や自動で設定されたAPN(接続先名)のままでいい場合は、下記の設定を行う必要はありません。
"マニュアル設定" を使用するには、はじめに初期登録(携帯電話の登録)をする必要があります。
マニュアル設定では、オンライン検索およびYahoo!サービスにて使用する接続先電話番号/ID/パスワード/DNS設定/プロキシ設定/APN設定の各設定を変更することができます。

アドバイス

- データ通信*(パケット通信)の契約が従量制である場合、あるいはデータ通信が定額制の契約の対象外である場合、長時間通信したり大量のデータをやりとりすると高額な料金が発生します。
  ご使用にあたっては、通信料金について十分ご注意ください。
  ＊印…データ通信の種類は主に以下の2つの形態があります。(FOMA例)
  ・パケット通信……送受信したデータ量に応じて通信料がかかる通信形態です。
  ・64kデータ通信…接続している時間に応じて、通信料がかかる通信形態です。
  ※データ通信の詳細はお手持ちの携帯端末の取扱説明書をご覧ください。
- ご利用になる携帯端末の取扱説明書に指定されている使い方や環境条件のもとでお使いください。
- 接続先に無効なパラメータが設定された場合、オンライン検索の通信に失敗する場合があります。
- 通信に失敗した場合でも、携帯電話の通信料金は加算されます。
- 携帯電話登録時における各携帯電話会社の初期登録設定値は以下のとおりとなります。

	NTT ドコモ	au	ソフトバンク
接続先電話番号	＊99＊＊＊1＃	＊99＊＊24＃	＊99＃
ID	[なし]	au@au-win.ne.jp	ai@softbank
パスワード	[なし]	au	softbank
DNS設定	自動	自動	自動
プロキシ設定	使用しない	使用しない	使用しない
APN設定	使用する 名称：mopera.ne.jp	使用しない	使用しない
接続方式	PPP	－	－

携帯電話会社を選択する

1 M–5手順 1 、2 にしたがって操作し、M–6手順 3 のとき現在接続中携帯電話(デバイス)を選択し 通信設定 をタッチする。

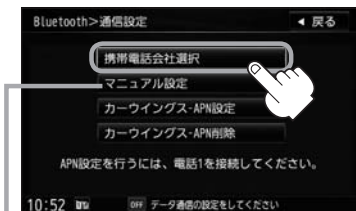
：通信設定画面が表示されます。

携帯電話登録一覧画面

詳細情報画面

2 携帯電話会社選択 をタッチする。

：携帯電話会社のリストが表示されます。

通信設定画面

マニュアル設定 をタッチすると、接続先の情報を手動で設定することができます。

「マニュアル設定をする」M-34

※マニュアル設定は、手順 2 で携帯電話会社選択のデータ通信ができなかった場合のみ変更してください。

3 データ通信する会社名をタッチする。

：設定が変更されます。

※マニュアル設定中に電話会社を選択した場合はマニュアル設定を初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので初期化する場合は はい 、しない場合は いいえ を選択してください。

アドバイス

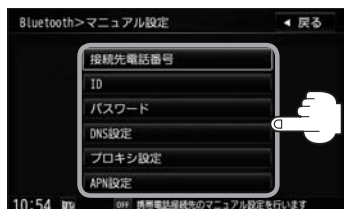
- 選択した携帯電話会社により接続パラメータが変わります。
- 接続中の携帯電話と異なる携帯電話会社を選択するとオンライン検索が正しく取得できません。

マニュアル設定をする

① M-33手順 **2** のとき **マニュアル設定** をタッチする。

：マニュアル設定画面が表示されます。

② 設定したい項目をタッチする。

マニュアル設定画面

：選択したそれぞれの設定画面が表示されます。

■ **接続先電話番号** をタッチした場合

1. 接続先の番号を入力する。

：入力画面が表示されるので数字をタッチして番号を入力してください。(★1)

※最大32ケタまで設定可能です。

■ **ID** ／ **パスワード** をタッチした場合

1. 接続先のユーザーID／パスワードを入力する。

：入力画面が表示されるのでID／パスワードを入力してください。(★2)

※最大32ケタまで設定可能です。

■ **DNS設定** をタッチした場合

接続先のDNSのIPアドレスを入力する。

1. **自動** ／ **手動** を選択する。

□ **自動** を選択したときは

：IPアドレスは自動で設定されます。

※自動にすると、プライマリDNS／セカンダリDNSは設定できません。

□ **手動** を選択したときは

プライマリDNS ／ **セカンダリDNS** をタッチする。

：入力画面が表示されるので **訂正** をタッチして数字を入力してください。(★1)

※セカンダリDNSはプライマリDNSが設定されていると選択可能となります。

■ **APN設定** をタッチした場合

1. APNを使用の **する** をタッチする。

2. **APN名称設定** をタッチする。

：入力画面が表示されるのでAPN名を入力してください。(★2)

※最大48文字まで設定可能です。

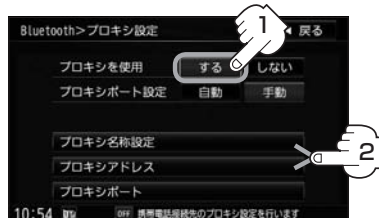
＊印…接続方式 **PPP** ／ **IP** を選択してください。

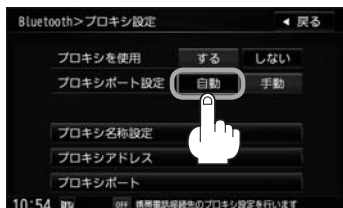
■ プロキシ設定 をタッチした場合

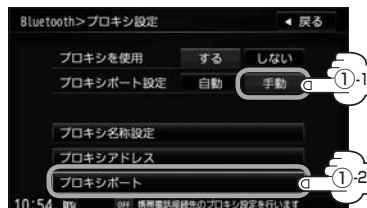
1. プロキシを使用の する をタッチする。

2. プロキシ名称設定 ／ プロキシアドレス を
タッチする。

：それぞれの入力画面が表示されるのでサーバーの名称(★2)またはIPアドレス(★1)を入力してください。

※名称設定では最大128文字まで設定可能です。

□ プロキシポートの設定をするには

① 自動で選択する場合は 自動 を
タッチする。

：プロキシポート番号は自動で設定されます。

① 手動で選択する場合は 手動 ➡
プロキシポート をタッチする。

：入力画面が表示されるので数字をタッチしてポート番号を入力してください。(★1)

アドバイス

- マニュアル設定を行なったあとに携帯電話会社を選択すると、選択した携帯電話会社の接続パラメータに設定が戻ってしまいます。
- 入力方法は★1印は I-9手順③を、★2印は H-16を参考にしてください。
- プライマリDNS／セカンダリDNS／プロキシアドレス入力では、「＊」「＃」は表示されません。
- プロキシポート入力では「00000」～「65535」まで設定可能です。

カーウイングス用のAPNを設定／削除する

接続している携帯電話がFOMA、ソフトバンク／ボーダフォン(3G)の場合は、カーウイングス用にAPNの設定が必要となります。APNの設定は通常携帯電話接続時に自動で設定されますが、自動設定に失敗した場合は下記の手順で設定を行なってください。

アドバイス

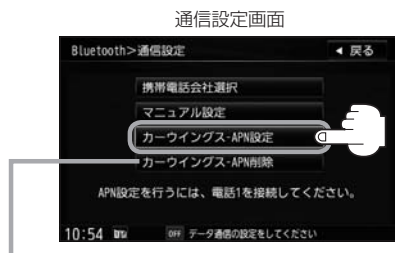
APNとはFOMA／ソフトバンク／ボーダフォン(3G)でパケット通信をする際の接続先名のことです。
※詳しくはご利用のFOMA／ソフトバンク／ボーダフォン携帯電話の取扱説明書を参照ください。

1 M-32手順 **1** にしたがって操作する。

詳細情報画面

2 カーウイングス-APN設定 をタッチする。

：正常に設定されると設定完了のメッセージが表示されます。

通信設定画面

■ **削除する場合** （携帯に書き込んだカーウイングス用のAPNを削除します。）

① カーウイングス-APN削除 をタッチする

：削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチするとAPN(接続先名)を削除し、データ通信画面に戻ります。

アドバイス

- “携帯電話のAPN設定に失敗しました”と表示された場合は、APN設定の削除を行ない、再度設定操作を行なってください。
- “携帯電話のAPN領域に空きがありません”と表示された場合は、携帯電話に登録されているカーウイングス用以外のAPNを削除して空き容量を確保してください。
- 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

ハンズフリーについて

Bluetooth対応の携帯電話をお持ちの場合に、本機のハンズフリー機能を使用することができます。

Bluetoothとは

- 携帯電話と本機をケーブルを使わずに接続し、音声やデータのやりとりをすることができる無線通信技術のことです。
- ハンズフリーのBluetooth機能を利用するには、初期登録をする必要があります。
  「初期登録設定」M-2
  初期登録後、電話１／電話２に設定されている場合は車のキースイッチを「ACC」または「ON」にして本機に電源が入ると自動的にBluetooth接続となります。

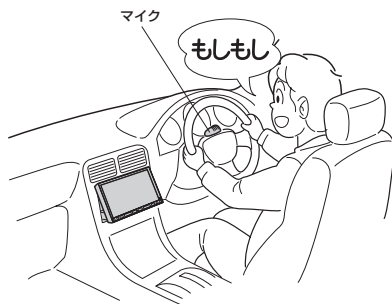
アドバイス

本機にて電話のやりとりをすると通常より携帯電話の電池が早く消耗します。

Bluetooth®

BluetoothおよびBluetoothロゴは、米国Bluetooth SIG. Incの登録商標です。

ハンズフリーとは

携帯電話を操作することなく画面をタッチすることで「電話を受ける」「電話をかける」などの電話機能が使用できます。これがハンズフリー機能です。

音声について

発信後および着信後は、付属のマイクおよび車両のスピーカーを通して通話できます。

安全上のご注意

- 安全のため、自動車運転中の携帯電話のご使用はおやめください。法律で禁止されています。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても通話しなければいけないときは、“ハンズフリー機能”を使用して「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してかけ直してください。
- 電話（本機）を使用するために、禁止された場所や周りに迷惑のかかる場所で駐・停車などをしないでください。

使用上のご注意

- **ハンズフリーを使用するときの通話料およびプロバイダ接続料は、お客さまのご負担になります。**
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機（レーダー探知機）を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 割込通話（キャッチホン）や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話（キャッチホン）や三者通話を解除しておいてください。割込通話（キャッチホン）や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。（故障ではありません）
- 車のキースイッチON直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  ・悪路走行時　・高速走行時　・窓を開けているとき　・エアコンのファンの音が大きいとき
- 本機はすべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続するBluetooth対応携帯電話はBluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBluetooth対応携帯電話が上記Bluetooth標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示／動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- 携帯電話にはご利用になれない機種があります。適合携帯電話機種につきましては、「日産販売会社」または「日産自動車株式会社 お客さま相談室」（☞本書最終ページ）にお問い合わせください。
- auの携帯電話をご使用の場合には、機種によって「回線交換モード（ASYNC／FAX）と「パケットモード」の2種類の通信モードがありますが「パケットモード」でご使用ください。
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にアップデートしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話および本機を使用する場合は、心臓ペースメーカーなど装着部から22cm以上離して使用してください。電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあります。
- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
  ・使用する携帯電話の圏外に車が移動したとき
  ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- Bluetooth通信用の車両側アンテナはナビに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえることがあります。
- ハンズフリーは付属のマイクを使用して通話します。
  マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話しください。
- （電話）を押して“ハンズフリーMENU”を表示させて各操作をすることができますが、本機の使用状態によってはボタンを押してもハンズフリーMENU画面に切り替わらない（表示しない）ことがあります。
- ハンズフリーにて通話中に（電話）を押すと音声を携帯へ切り替えます。また、データ通信中の場合はデータ通信を切断（終了）します。

- オーディオ再生中に発信および着信された場合、再生中のオーディオはMUTE(消音)状態となります。
  ※録音中に発着信があった場合、録音は継続されます。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBluetooth接続してください。
- 携帯電話の機種で「市外局番メモリ」を設定して接続すると、カーウイングスやオンライン検索が利用できない場合があります。この場合は設定を解除してご利用ください。(解除方法は、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。)
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での(着信拒否、転送も含む)発着音、保留操作はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
  ・本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
    1 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
    2 万一、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店へご相談ください。
    3 その他、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行なうと法律で罰せられることがあります。
  ・分解や改造をする　・ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- 車載機で携帯電話を充電することはできません。
- Bluetooth Audio機器と本機以外が接続されている場合、本機とBluetooth接続できない場合があります。その場合は、携帯電話と本機以外の機器とのBluetooth接続を切断してください。
- Bluetooth Audio再生中に着信した場合、自動的にBluetooth Audioの出力が停止されます。また、通話後はポータブルオーディオ機器や携帯電話の仕様によってはBluetooth Audioの再生が自動で再開されない場合があります。その場合には手動で再生を行なってください。
  「Bluetooth Audioについて」I-16
- Bluetooth Audio対応の携帯電話を登録し、使用した場合、その携帯電話の仕様によってはBluetooth操作が行なえなくなる場合があります。その場合はBluetooth Audioの登録を削除してください。「■ 登録機器を削除する場合」I-5
- 携帯電話を電話1／電話2設定した場合、その携帯電話の仕様によってはBluetooth操作を行なえない場合があります。その場合は電話1／電話2いずれかの設定を解除してください。
  「携帯電話の割り当てを切り替える」M-8